

登録しよう防災会公式
LINE@
情報をいち早く入手するぞ

防災だより

発行 加古川グリーンシティ防災会

人 ~25年間のアップデート

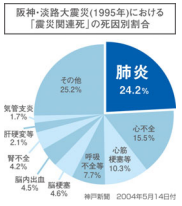
阪神・淡路大震災から5年目、2000年4月に防災マップづくりに踏み込んだ。今、当時の防災マップを見てみると、全国で多くの人や地域が陥っている「防災迷路」に我々も迷い込んでいた気がします。

「防災とは何か？」を他者に伝えることが出来ずにいた。決して間違いでは無いものを作っているのだが、何故これが必要なのか？多くの人々が我が事としてとらえることのできる興味をそそるものも無かった。「**防災とはこれだ!**」と定義されていない。そんな防災マップだ。当時を思い返すと、防災の参考書も無く、インターネットなんてまだまだ一般的な利用がされていない。唯一防災を知ることができたのは、5年前の震災の教訓しかなかった。テレビなどで放送される情報を元に、自分たちにできることを考えた。火災時の消防活動・緊急時の救命講習・懸念される地震など、人を煽るだけの防災活動をやっていた気がします。唯一オリジナル性があったのは「町内チャンピオンマップ(現ちからこ部)」でした。災害時に協力して下さる方や協力可能な技術を災害発生までに確認し登録するスタイルのものだ。これらは当時としては先進的な防災活動であり、多くの人に興味をもていただいた活動でもありました。後のテレビ取材で気付くのですが「**協力するよ**」という大切な人の想いより、「**何人が?どんなものが登録されていて?特殊な技術?**」こればかり目が向けられてしまっていた。このような悲しい現実を何度もメディアに突きつけられたのです。我々が目指したコンセプトは、当初から今も変わっていません。それは『**助かりたいと思う人が助け合うシステム**』です。『**人を助けるシステム**』ではないのです!この違いは、とても大きい!我々は救助隊ではなく、優れた技術や能力、装備は持ち合わせていないのです。にも関わらず「正義の味方」のような扱いすら感じるときもありました。我々はその都度心の中で叫んでいました。「**助かりたいと本気で思う人を増やしたい!**」と。しかし、このころ我々には防災活動の「**定義**」を見いだせてはいなかったのも事実。そのもどかしさに様々な「**学び**」がスタートしたのです。

そのような中、2004年(平成16年)10月23日17時56分、新潟県中越地方を震源として発生したM6.8の新潟県中越地震が発生した。我々は、この地震がこれまでの防災活動に大きく舵を切ることになる学びが記憶に強く残る。それは!中越地震の死者数は68名。地震による直接死は



16名、52名が災害関連死(間接死)と認定。災害関連死(間接死)ってなんだ。ここに注目した!地震の揺れが原因で命を落としたのでは無い?揺れがおさまってから命を落とした!何故だ?



この地震では、本震発生後の1時間にマグニチュード6以上の地震が3度も発生、震度6強の揺れを2度観測。その後も余震が続き、多くの住民が車中で長期間寝泊まりをした。このため、静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)などによる関連死が多く発生したのです。この3年後に発生する「能登半島沖地震」では、この教訓を活かし、多くの医者や専門機関が「**水分摂取**」がとても大切と強く呼びかけたのです。中越地震発生当時は、残念ながら静脈血栓塞栓症の予防が周知されなかったのです。地震の揺れで助かった人が亡くなる?これはおかしい!このことに注目した我々は、阪神・淡路大震災の教訓を調べ直した。すると阪神・淡路大震災でも、関連死(間接死)の方が沢山いらっしゃる。ならば、今!我々ができることは「**生き残れた人を生かしたい**」そう考えたのです。どうすれば?そこで注目したのは、飲み水は配給される可能性は高い、そこでトイレ排水「**生活用水**」にフォーカスした。

トイレに流す水がない。トイレは汚れていく。トイレを汚さないためにトイレを我慢する。トイレを我慢したことで静脈血栓塞栓症が発生!ならばトイレを我慢しなくてもよい方法を手に入れれば良いのだ。そこで目を付けたのが「**地下水**」。加古川には様々なところに本流の伏流水が大量に地面の下を流れている。それを少しわけて頂こうと考えました。色々な地質調査資料を手に入れ、地下には間違いなく大量の水が流れていると確信「**防災1号井戸**」を着工し、後に「**防災2号井戸**」もできました。「**命を守ることができる水**」が手に入ったのです。後の口腔衛生研究で判ったことですが、東日本大震災では阪神・淡路大震災と同様のことが起こっています。地震発生から約1~2週間後に肺炎で死亡した人の数が最も多かったと報告されている。震災直後から口の中で増え始めた歯周病原菌は、1~2週間内に誤嚥により肺に移動、致命的なまでに増殖。災害から避難することができても、避難所などで歯磨きや入れ歯の清掃などの口腔ケアが十分にできず口腔衛生状態の悪化から身体全体に悪影響が及ぶ事案が発生。こうした事実から口腔内を清潔に保つという意識を日頃から持つことが、いかに重要であるかも大いなる「**学び**」となった。今回のキーワードは『**定義と学び**』。さて次回は?

